

評価のポイント

CL-Ⅲ. 協働する力

[29-3] 小児科の病棟マネジメント 1 こどもの入院する病棟を管理する視点

下記①～④の新規入院の部屋を決定してください。感染・安全・性別などを 考慮して病床を考えましょう。アルファベット A-K が空床です。（すでに入院中の子どもには母親が付き添い中）全ての病床は小児入院管理料 4 を届け出ています。

- ① 14 歳 女性 摂食障害 付き添いなし
- ② 6 ヶ月 男性 肺炎（RS は陰性）父親付き添い
- ③ 2 歳 女性 感冒症状を伴う、喘息発作 母親付き添い
- ④ 5 歳 男性 リンパ節炎 母親付き添い

施設毎で設定された根拠ある回答であれば良い。

例）10 歳以上の男女は一緒にしない/夜泣き年齢は成人患者と一緒にしない/1 歳未満で重症化するような感染症と一緒にしない/排泄ケアや認知症のある成人と子どもは一緒にしない/在宅呼吸器使用中の子どもはナースステーションの近く/手術後は、トイレの近い部屋 など

① 14 歳 女性 摂食障害 付き添いなし 回答 = A (I.J)

理由 = 感染症のいない女性の病床 小児科は集めたほうが動線が良い

② 6 ヶ月 男性 肺炎（RS-）父親付き添い 回答 = E

理由 = 胃腸炎・RS ウイルスの罹患を避ける。しかし、本児の感染を広げない

③ 2 歳 女性 感冒症状を伴う、喘息発作 母親付き添い 回答 = D.B

理由 = 1 歳を超えているので、感冒症状のある子どもの部屋。夜泣きの可能性あり、成人とは一緒にしない

④ 5 歳 男性 リンパ節炎 母親付き添い 回答 = C

理由 = 熱はあるが感冒症状のない部屋